

## 輝け！シン尾花沢中

第152号

令和7年

12月24日

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

## 福中生の発表と交流についての感想～学習成果交流会～

11日（水）に行われた学習成果交流会について、福原中生の発表及び感想を紹介します。  
福中生の発表代表者及びテーマは次のとおりです。

発表者	テーマ
東海林真優さん	尾花沢を盛り上げるためにすることはなにか？
庄司愛来さん	移住者を増やしてにぎやかな尾花沢にするには？
天野孝哉さん	尾花沢の地域の人たちが求める医療体制とは？
大類陽菜さん	福中の通学路を整理し、道路交通にも福中生の命も守れる生活にするために
高橋琥さん	尾花沢に動物園をつくる！



発表後のアイスブレイクについて、福中生全員の感想を紹介します。

- 尾中でもやっていける、と思った。名前を憶えて雑談することで友達を作っていきたい。
- あまり知らない人とでも、協力できて楽しかった。尾中では場の雰囲気を読んで行動していきたい。
- 遊びや楽しいことだと話しやすくて、一緒に考える活動ができたので距離を縮めやすかった。  
名前を覚えた人に、積極的に話しかけたい。
- 統合後も、今回の交流会のように笑い合えると、安心できると思った。
- よくわからないことを言っている人もいて面白かった。同じチームだった人と友達になりたい。
- 交流してみて、自分は人見知りだと改めて感じた。統合後は積極的に話しかけようと思う。
- 尾中に対する不安が、交流するたびに楽しみに変わり、「もっと交流したい」と思えてきた。  
名前を覚えることができたので、統合後は積極的にコミュニケーションをとりたい。
- あまり自分から交流することができなかつたのもっと積極的に接したいと思った。  
相手のことをよく知り、仲良くなれるようにしたい。
- 笑顔が大切だと思った。共通点をもっとみつけて仲良くなれるようにしたい。
- チームの人々が、自分と性格が似ていて関わりやすかった。  
コミュニケーションをとるときはもっとテンションをあげていきたい。
- 福中にはいないようなタイプの人がたくさんいて楽しかった。相手のことをもっとよく知りたい。
- 楽しかったけれど、まだ気まずかった面もある。交流をこれからの仲間づくりに生かしていきたい。
- 尾中生のことが少しずつ分かってきた。1回だけでも尾中生が福中に来てほしいと思った。



交流を重ねて親睦は深まっていますが、福中生の統合に対する複雑な思いを感じ取ることができません。統合後に、福中生が安心して学校生活を送ることができるよう、こういった思いを念頭に置いて、思いやりの心をもって迎え入れるよう努めていきたいと感じたところです。

【文責：校長 工藤雅史】